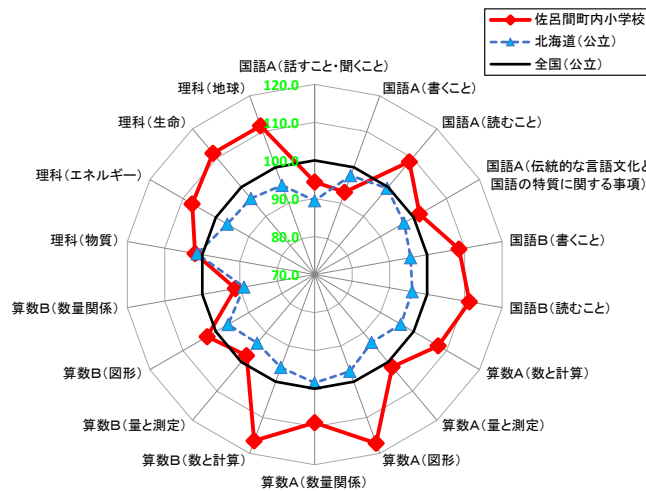


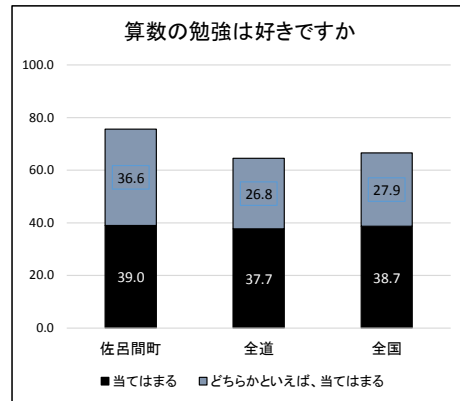
■佐呂間町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3、児童数:40名)

【教科全体の状況】

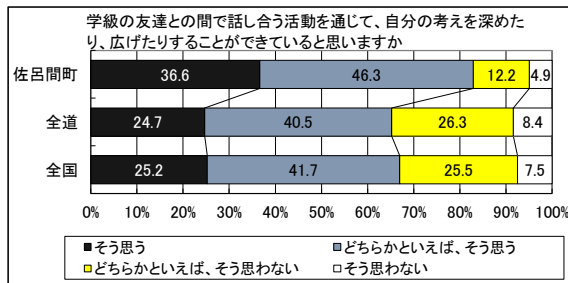
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



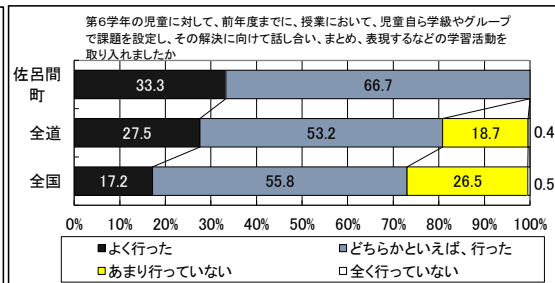
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 平均正答率について、すべての教科において全国を上回っている。 ○ 国語Aの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、算数B「数量関係」、「量と測定」以外は全て全国を上回っている。 ○ 全国の下位25%と同じ正答率の範囲に含まれる児童の割合は、国語A以外の全ての教科で全国より少ない。	○ 授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたことによって、児童が自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになったと考えられる。 ○ 国語Aの平均正答率は全国平均を上回っているが、全国の下位25%と同じ正答率の範囲に含まれる児童の割合は、国語Aのみ、上回っていることから、下位層の児童に対する指導が課題である。
児童質問紙	○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の質問に、肯定的な回答をした児童の割合が全道、全国を上回っている。 ○ 「算数の勉強は好きですか」の質問に肯定的な回答をした児童の割合が全道、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「第6学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか」の質問に、肯定的な回答をした児童の割合が全道、全国を上回っている。	

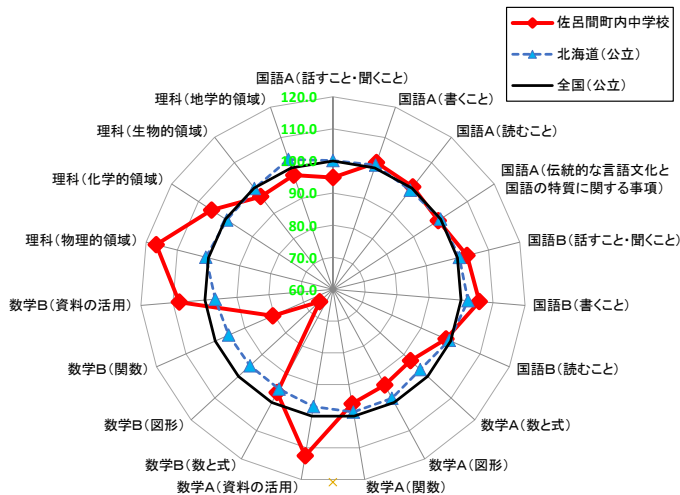
【佐呂間町の学力向上策】

- ◎ 町内の教職員等で組織する「学力向上推進委員会」を中心とした学力調査の分析、長期休業中の学習サポート、ICTを活用した教育の推進など効果的な取組の推進
- ◎ 教員の指導力向上のための各種研修会への参加奨励
- ◎ 学力を向上・継続させていくための小学校・中学校・高等学校間の連携強化

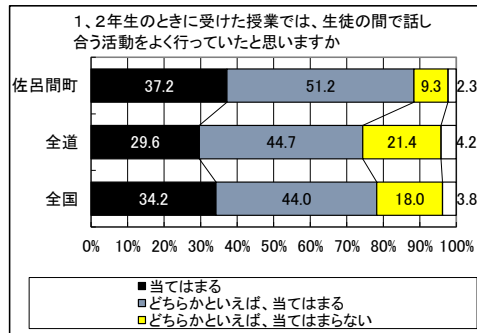
■佐呂間町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:43名)

【教科全体の状況】

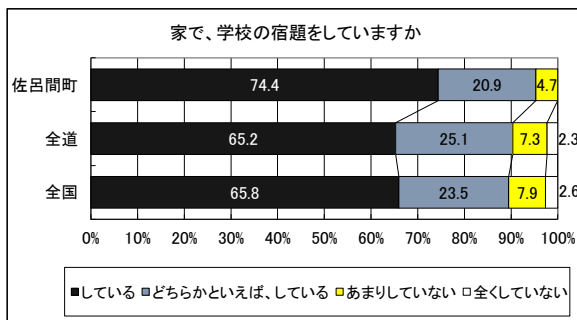
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



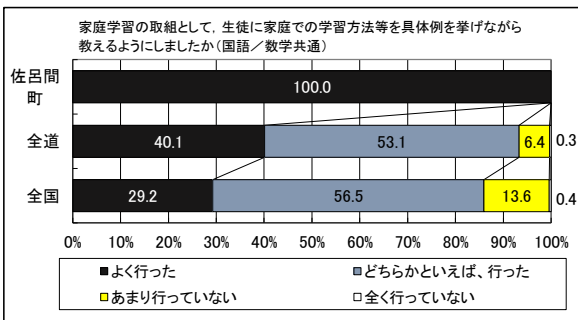
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 数学A、Bの「資料の活用」、理科の「物質的領域」、「化学的領域」で全国を上回っている。 ○ 平均正答率について、国語B、理科で全国平均を上回っている。 ○ 全国の下位25%と同じ正答率の範囲に含まれる生徒の割合は、理科以外の全ての教科で全国より多い。特に国語Bにおいて、差が大きい。	○ 学校が家庭学習の方法等を具体例を挙げながら教えることによって、積極的に宿題等の家庭学習に取り組む生徒の割合が高くなり、学力の定着が図られたと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、学校の宿題をしているか」の質問に、肯定的な回答をした生徒の割合が全道、全国を上回っている。 ○ 「1、2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思うか」の質問に、肯定的な回答をした生徒の割合が、全道、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/数学共通)」の質問に、「よく行った」と回答した学校の割合が全国を上回っている。	

【佐呂間町の学力向上策】

- ◎ 町内の教職員等で組織する「学力向上推進委員会」を中心とした学力調査の分析、長期休業中の学習サポート、ICTを活用した教育の推進など効果的な取組の推進
- ◎ 教員の指導力向上のための各種研修会への参加奨励
- ◎ 学力を向上・継続させていくための小学校・中学校・高等学校間の連携強化